

## 認知症作業療法 活動報告（概要）

栃木県作業療法士会では、「地域リハビリテーション推進部・認知症ケア対策推進部門」として、主に「研修事業」を中心に活動している。これまでの認知症アップデート研修会の実施、啓発事業としての「RUN伴」への運営面での参加や、県内の認知症支援に携わるOTの現状把握としてアンケート調査の実施の他、今年度はアップデート研修を受講した方を対象に認知症応用研修の実施を予定している。活動の主な目的は人材育成であるが、認知症の人と家族の会や行政も含めた他機関との連携等も視野に入れて活動していく必要がある。

## 研修事業

H28年度から認知症アップデート研修を開催。  
年2回県北地域、県央地域で1回ずつ実施している。  
R元年度1回目をR1.7月（県央）、2回目をR1.10月（県北）に実施。

これまで実施6回で計153名の参加を得た。

また、今年度より全ての部門員が講義をできるように講師養成を行っている。

今年度は認知症応用研修をR2.2月に実施予定。



## 認知症啓発事業

RUN伴2019に県士会として後援。  
県士会認知症ケア対策推進委員がエリア長・副エリア長として運営に参加。



## 認知症ケア対策推進部門会議

昨年までは部門員が2名であったが、今年度から6名に増員。部門会議も定期的に行えるようになっている。

## 調査事業

認知症支援に関するアンケートを士会員所属事業所90施設（会員547名）に実施。  
回収率56%。

認知症初期集中支援チームに携わっているのは1事業所、など地域で認知症支援に携わるOTが少ない現状。また、認知症支援の必要性は感じているが、職場環境の問題や支援内容が分からないなど、現場でもどかしさを感じている状況が窺えた。認知症支援をしているOT間の横のつながりも必要との意見も見られた。

## 今後の展開

- ・人材育成のための認知症アップデート研修会の継続、応用研修等の実施。  
（研修内容の検討、参加率を上げるための工夫検討が必要）
- ・アンケート調査から見えた県内の課題に対する対策検討。
- ・「認知症の人と家族の会」との県士会としてのコンタクト、連携を図る。